

2024年10月28日

## 第50回衆議院選挙結果についての談話

日本退職者連合  
事務局長 野田 那智子

### 1. 「政治とカネ」に対する国民の厳しい審判

10月27日に第50回衆議院選挙の投開票が行われました。自民・公明の与党は計215議席で過半数を割り、立憲民主党は148議席、国民民主党は28議席と大幅に議席を増やしました。政治の流れを変えた会員各位の取り組みに、心より敬意を表します。

特に、「政治とカネ」をめぐる問題で政治不信を招いた自民党は、選挙前の247議席から191議席へと大幅に減らし、公明党も32議席から24議席となりました。この結果は、先の通常国会における政治資金規正法の「ザル改正」を経て退陣した岸田政権を引き継いだ石破総理が、総裁選挙中に述べていた言説を翻して政権発足から戦後最短となる解散により逃げ切りを図ろうとした姿勢に、有権者が賢明な判断を下したものとと言えます。選挙戦の終盤に明らかになった自民党の非公認候補者側に対する2,000万円の政党交付金の支給がダメ押しとなりました。

### 2. 政治への信頼回復と国民生活の安定をめざして

近く召集される特別国会では、改めて総理大臣を選出する指名選挙が行われます。退職者連合は、政治への信頼を取り戻し、国民生活を安定させるため、立憲民主党と国民民主党が軸となって、自公政権に代わる新たな政権を樹立することを求めます。

年明けには通常国会が召集され、来年度予算案が審議されます。裏付けとなる税制改正法案では、防衛費やこども子育て関連の増税が想定されます。また、社会保障審議会年金部会での議論が年末に集約され、年金制度改革法案も提案されることになっています。

来年の夏には、第27回参議院選挙が行われます。今回の衆議院選挙では73人の女性議員が当選しました。退職者連合は、高齢者が安心できる働き方に中立的な社会保障制度を求めてきました。今回の選挙結果をさらに伸ばし、国民生活・社会保障を中心とした政策実現に向けて引き続き取り組みを進めましょう。

以上